

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 中原 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

教科に関する調査（国語、数学）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問調査

生徒質問調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

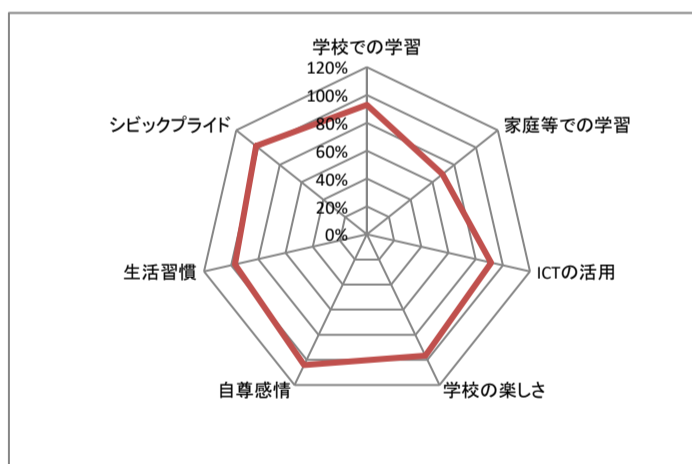
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学）の結果

| 本年度の結果 | 国語 | | 数学 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 平均正答数 | 平均正答率 | 平均正答数 | 平均正答率 |
| 本市 | 8.5 | 57 | 7.8 | 49 |
| 全国 | 8.7 | 58 | 8.4 | 53 |

(2) 本校の学力調査結果の分析

| 国語 | 全体的な傾向や特徴など | 情報を収集し、整理分析や読み取ることは得意な傾向にある。一方で、話し合いの話題や展開を踏まえながら自分の考えをわかりやすく伝えるなど、「話すこと・聞くこと」が苦手な傾向がみられる。 | 全国平均正答率との比較 上回っている |
|----|-------------|--|-----------------------|
| | よくできた問題 | 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることについては正答率が高くなっている。 | |
| | 努力が必要な問題 | 話し合いの話題や展開を捉えながら他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに努力を要する。 | |
| 数学 | 全体的な傾向や特徴など | 基礎的な問題の正答者数にばらつきがある。各単元の文章題を中心とした応用問題や図やグラフから読み取れる事柄を数学的な表現を用いて説明することについて課題がある。 | 全国平均正答率との比較 下回っている |
| | よくできた問題 | 関数領域においてグラフの特徴や事象を読み取り、解釈する問題への正答率が高い傾向にある。 | |
| | 努力が必要な問題 | どの単元においても数学的な表現を用いて、筋道を立てて考え説明する問題に課題がある。 | |

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



| 質問調査の結果分析 | |
|---|--|
| ・学校での楽しさや友達関係について、どちらも80%以上の生徒が肯定的な回答をしている。また、「先生は、よいところを認めてくれていると思う」との問いに対して、95%以上の回答があり、教師からの声掛けをポジティブにとらえていることがわかった。さらに、「役に立つ人間になりたい」と答えた生徒が同程度おり、社会貢献への意識がとても高いことがわかった。 | |
| ・ICTの活用や家庭学習については、家庭学習の習慣化やICTの有効活用が本校の課題といえる。今後、生徒への提出課題の設定や授業改善、家庭学習が定着するような取り組みなどの工夫が一層必要である。 | |

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

| |
|---|
| <p>国語：漢字や語彙の定着を図りつつ、話し合い活動の中で自分の考えをわかりやすく伝える機会を増やしていく。</p> <p>数学：これまで学習した内容を確認する機会を授業時間内で設けたり、家庭学習で取り組むことのできる課題を配布したりして基礎学力の定着を図る。また、授業内で数学的な表現を用いて説明する機会を増やしていく。</p> |
|---|

② 家庭生活習慣等に関する取組

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣については、保健体育の授業や保健だよりなどで引き続き、意識づけを行っていく。 ・SNS等の使い方については、各家庭で約束事を決めて使用している生徒が比較的多く、学校でも使用方法など継続して指導を行っていく。 ・家庭学習習慣については、生徒が自主的に計画を立て取り組むことができるよう課題内容の検討を行っていく。 |
|--|